京都教育大学 教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品

NO.32 2017.11

京都市伏見区深草藤森町1
☎：075-644-8840/8175
✉：manabi@kyokyo-u.ac.jp
🕓：13:30 ～ 17:00
開館日：月・水・金
MUSEUM OF EDUCATION

羊裘垂釣

山内　肇　1991（平成3）年
本紙：1025mm×955mm

京都教育大学で教鞭を執った山内肇（号は観）の書。俗世との関わりを絶ち、隠棲することを示す「羊裘垂釣（ようきゅうすいちょう）」という語を題材とする。優れた書をあらわす言葉の一つに「気韻生動」（生き生きとした気風や高貴な風格が備わっていること）があり、唐代の張彦遠が「外面的な形似よりも画家の内面から生まれる立気が気韻を生みだす」と唱えてからは、単に技術を磨くだけではなく、内面の人格を磨いて真摯に制作に取り組まないと、「気韻生動」に溢れた作品にはなり得ないと考えられるようになった。ともすれば、デフォルメされた造形の派手な書がもてはやされる現代において、山内の書は、この「羊裘垂釣」といった作品に限らず、茫洋としたスケールの大きさを感じさせるものが多い。決して無理のない、古典を基調とした造形の書は、常に清冽で格調が高いものであり、また、時として温かみを覚えるその線条は、山内の人柄を彷彿させるものともいえる。まさに「気韻生動」という言葉がふさわしい書であるといえよう。

（二）　（一）

（三）

（一）活人剣
（二）面貌
（三）木は静かな炎